

「人」を起点とした新企画

SHIBUYA PARCO “PERSON”

坂本龍一の音楽による館内BGM、本とアートの複合拠点「NONLECTURE」、「FETICO」初POPUP、RIP SLYMEインタビュー

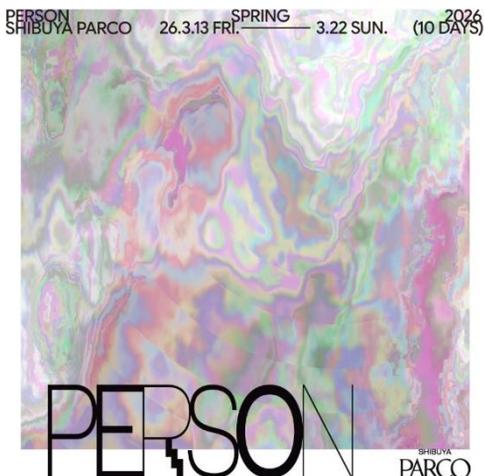


Photo by Neo Sora ©2020 KAB Inc.



渋谷PARCOでは、《人》を起点とした新たな企画「SHIBUYA PARCO “PERSON”」を2026年3月13日(金)～3月22日(日)にて開催します。本企画では、人物やコミュニティ、人が創り出すものなど、様々な視点から、渋谷PARCOが今注目する《人》にフォーカスし、イベントやインタビューなどで深堀りします。

館内に流れるBGMは、**坂本龍一**の音楽。プレイリスト制作は、The Estate of Ryuichi Sakamotoが選出した**宇川直宏**が3月、**TOWA TEI**が4月を担当。3月16日(月)は、SUPER DOMMUNEにて坂本龍一を特集したPERSON SPECIAL PROGRAMを予定。

3月13日(金)、渋谷PARCO ZERO GATE・地下1Fに本とアートの複合スペース「NONLECTURE books/arts」をオープン。長年、本やアートに携わってきた**持田剛**が手掛けるこの場所では、書籍、アート、展示、イベント、プロダクトを横断的に楽しむことができます。**田中了**オーナーの「虎へび珈琲」が新業態「虎へび可可」を3月下旬オープン。常に「新しいもの」を探求し、既成概念が生む固定概念に囚われることなく、「自由」という本質を抽出する姿勢を継承したチョコレートブランドを展開します。

POPUPは、ウィメンズブランド「FETICO」が渋谷PARCOに初出店。デザイナー**舟山瑛美**に、ブランドの現在地やクリエイションの源泉などを聞いたインタビューも近日公開予定。そのほか、独立系映画スタジオA24の新作映画『マーティ・シュプリーム 世界をつかめ』の公開を記念した特別なPOP UP SHOPや、検眼医の哲学とデザイナーの感性が融合し誕生した韓国発のアイウェアブランド「PROJEKT PRODUKT」など、創造性に触れられるラインナップが揃います。

イベントでは、ブランドの世界観を立体的に感じられる多彩な企画が集結。VCM代表 **十倍直昭**と古着を愛するゲストを迎えたトークセッション、**GANNI**によるオープン1周年記念レセプション、アートEC/OILによるART MARKET、**JUN WATANABE** (BLOCK HEAD MOTORS TOKYOオーナー) によるラジコンカーイベントなどを開催します。

PERSONのキービジュアルは、対話をテーマに、二人のジェネラティブアーティスト**Chih-Yu Chen**と**永松歩**による作品を掲示。Github上でのコードと言葉の往還を通じ、国境を越えた新たな対話とジェネラティブアートの可能性を提示した対話によるビジュアルです。

■PERSON (パーソン) 開催概要

会期：2026年3月13日(金)～22日(日)10日間

特設サイト：<https://shibuya.parco.jp/page/person2026/>

■PARCO ポイントアップキャンペーン(110円(税込)ごとに通常時 +3pt)

会期：2026年3月13日(金)～17日(火)5日間

PARCOカード(JFRカード社発行)のクレジットカード決済、もしくはポケパル払いでのお買い物で貯まるPARCOポイント付与数が通常より+3ptアップ

【本件に関するお問合せ】

パルコ広報事務局(株式会社イニシャル内) 担当：友松・岸本

E-mail：parco@vectorinc.co.jp TEL：03-6821-5730株式会社パルコ 渋谷店営業課 山口 大森 yama-go@parco.jp omo-yuka@parco.jp

■坂本龍一 MUSIC for SHIBUYA PARCO



Photo by Neo Sora ©2022 KAB Inc.

渋谷PARCOは、世界へ発信する“次世代商業施設”として、音楽を通じた空間体験を提案してきました。

2026年3月・4月、館内に流れるのは坂本龍一の音楽。

プレイリスト制作は、The Estate of Ryuichi Sakamotoが選出した宇川直宏が3月、TOWA TEIが4月を担当。それぞれの視点から再構築される作品群が、春の館内を静かに彩ります。

3月16日はSUPER DOMMUNEにて坂本龍一の特別番組も放送予定。

坂本 龍一

1952年東京生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。1978年『千のナイフ』でソロデビュー。同年、YMOの結成に参加。1983年に散開後は『音楽図鑑』、『BEAUTY』、『async』、『12』などを発表、革新的なサウンドを追求し続けた姿勢は世界的評価を得た。映画音楽では『戦場のメリークリスマス』で英国アカデミー賞作曲賞を、『ラストエンペラー』でアカデミー賞作曲賞、ゴールデングローブ賞、グラミー賞など多数受賞。『LIFE』、『TIME』などの舞台作品や、2018年 picnic/ソウル、2021年M WOODS/北京、2023年-2024年 M WOODS/成都、2024年-2025年 東京都現代美術館/東京での大規模インスタレーション展など、アート界への越境も積極的に行なった。環境や平和問題への言及も多く、森林保全団体「more trees」を創設。また「東北ユースオーケストラ」を設立して被災地の子供たちの音楽活動を支援した。2023年3月28日死去。



宇川 直宏

1968年生まれ。現“在”美術家・DOMMUNE主宰。映像作家、グラフィックデザイナー、VJ、文筆家、大学教授など、80年代末より多岐にわたる活動を行う。既存のファインアートと大衆文化の枠組みを抹消し、自由な表現活動を行っている。2010年3月に個人で開局したライブストリーミングスタジオ兼チャンネル「DOMMUNE」が、国内外で話題を呼び続けている。開局10周年となる2019年11月に渋谷PARCO9Fに移転。SUPER DOMMUNEとして進化を遂げた。2021年、第71回 芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



TOWA TEI

1990年にDEEE-LITEのメンバーとして、アルバム『World Clique』で全米デビュー。現在、13枚のソロアルバム、3枚のSWEET ROBOTS AGAINST THE MACHINE名義、METAFIVEのアルバム等がある。2025年、3月29日に13枚目アルバム『AH!!』をデジタルリリース、6月6日にはヴァイナルをリリース。4月からBillboard Liveのテーマ楽曲を担当。初秋には最新アルバム「AH!!」のGOH HOTODAによるDolby Atmos版を配信。10月29日より配信開始されたSTAR WARS VISIONS 3の『The Song of Four Wings（日本語題：四枚羽の詩）』にて作曲を担当。

PERSON SPECIAL PROGRAM 坂本龍一

S/U/P/E/R
DOMMUNE

PERSONのSPECIAL PROGRAMとしてSUPER DOMMUNEにて、坂本龍一を特集した番組を放送を予定してします。

<https://www.dommune.com/>

■日時：2026年3月16日（月）19:00～ ※番組観覧はございません

持田 剛プロデュース「NONLECTURE」、虎へび珈琲新業態「虎へび可可」NEW OPEN

「NONLECTURE」〈ノンレクチャー〉3/13(金)NEW OPEN 〈ZERO GATE・地下1F〉



2026年3月13日(金)、渋谷スペイン坂・ZERO GATEに本とアートの複合スペース「NONLECTURE books/arts」がオープン。「BOOKMARC原宿」のディレクションなど本やアートイベントを様々手掛けてきた持田剛がプロデュース。書籍、アート、展示、イベント、プロダクトを横断的に展開し、訪れる人は空間を行き来しながら、思いがけない出会いや発見を楽しむことができます。



持田 剛

洋書アートブックの仕入れ、選書、国内外の作家の写真展、アートエキシビションのキュレーション、出版イベント、サイン会等のアレンジを広く行う。1998年よりタワーレコード渋谷店7Fにあった「TOWER BOOKS」のマネジメント、2008年より「代官山蔦屋書店」準備室の洋書仕入れ、2014年よりファッションブランド「MARC JACOBS」が手掛けるブックストア「BOOKMARC原宿」のディレクションを行う。2026年3月、渋谷スペイン坂に「NONLECTURE books/arts」を開業。

虎へび珈琲新業態「虎へび可可」〈トラヘビカカ〉3月下旬 NEW OPEN 〈渋谷PARCO・3F〉



虎へび可可是、2020年1月に創業した虎へび珈琲の思想、そして概念から派生したオルタナティブチョコレートブランド。常に「新しいもの」を探求し、既成概念が生む固定概念に囚われることなく、「自由」という本質を抽出する姿勢を継承している。中米コストリカで活躍するブランドとの協業、スーパーファインカカオを使用した「トフィー」をはじめ、虎へび珈琲で大人気なエイジドブレンドを感じるアーモンドチョコ、「珈琲と可可」の共作、キャラメルブレンドチョコレートドリンク、更には虎へびだからこそ成せる多様な共創を展開予定。2026年、渋谷PARCOにて新たな体験への入口を開く。



田中 了

2000年代にファッションデザイナーとして、東京コレクションを中心に活躍。同時に数々の企業とも協業、クリエイティブディレクターとしてジャンルを問わずボーダレスに活動。2019年海外から帰国後、写真家としての幅も広げ、作品や写真誌などを発表。珈琲ブランドをプロデュースするなど、自身に流れるクリエイティブの道筋を追求している。

POPUP

■FETICO POPUP SHOP

FETICO(フェティコ)が、渋谷PARCOで初のPOPUPを開催。定番のウェアアイテムや、コーディネートのアクセントになる小物中心に豊富にラインナップ。

■会場：1F ARCADE ■会期：2026年3月11日(水)～3月22日(日)

【Interview】PEOPLE

FETICOデザイナー舟山 瑛美に、インタビュー。ブランドの現在地や唯一無二のクリエイションの源泉、今回のポップアップに込めた思い、そして渋谷PARCOにまつわる思い出まで語ってもらった。

<https://shibuya.parco.jp/feature/>※3/6 18:00公開予定

舟山 瑛美

高校卒業後に渡英、帰国後にエスモードジャパン東京校入学、2010年卒業。国内のコレクションブランドでデザイナーとして経験を積み、2020年に自身のブランドFETICOを立ち上げる。2021年、日本服飾文化復興財団「JFLF AWARD 2022」特別賞受賞。2022年「JFW NEXT BRAND AWARD 2023」、「東京ファッションアワード」受賞。2025年「毎日ファッション大賞 新人賞・資生堂奨励賞」受賞。



■A24×PARCO『MARTY SUPREME』

世界中に熱狂的なファンを持つ気鋭の独立系映画スタジオ・A24の新作映画『マーティ・シュプリーム 世界をつかめ』の公開を記念して、特別なPOP UP SHOP登場。ここでしか買えないオリジナルグッズや、映画の世界観を体感できるインスタレーションや、貴重映像をお見逃しなく！

■会場：1F DAIROKKAN ■会期：2026年3月11日(水)～3月22日(日)

■PROJEKT PRODUKT POP UP

韓国発のアイウェアブランド。

韓国国内の著名人やファッションイスタから厚い支持を集め、一昨年の冬より待望の日本本格上陸を果たしました。

検眼医の哲学とデザイナーの感性が融合したプロダクトは、優れたかけ心地はもちろん、緻密に計算されたフォルムとバランスによって生まれる高いフィット感が魅力です。

さらに、あらゆるスタイルに調和するデザインと、豊富なカラーバリエーションも大きな見どころのひとつです。今回のイベントでは、今年1月末にイタリアで発表されたばかりの最新コレクションに加え、これまで人気を博してきたアイコンモデルや定番アイテムも一堂にラインナップ。イベントならではの圧倒的なバリエーションで、ブランドの世界観を存分にご体感いただける機会となります。

■会場：1F GATE ■会期：2026年3月13日(金)～3月22日(日)

Interview

【Interview】Niels Strøyer Christophersen

デンマーク国外で初めての直営店舗を渋谷PARCO・3Fに2025年9月にオープンしたデザインスタジオ「FRAMA (フラマ)」。クリエイティブディレクターNiels Strøyer Christophersenのインタビューを渋谷PARCO WEBにて近日公開します。

<https://shibuya.parco.jp/feature/>

Niels Strøyer Christophersen (ニルス・ストロイヤー・クリストファーセン)

デンマーク生まれ。2011年に、マテリアルやシンプルで幾何学的なフォルム、普遍的な美しさにフォーカスしたデザインスタジオ「FRAMA (フラマ)」を設立。クリエイティブディレクターとして、ライフスタイルにまつわるデザインやプロデュースを手がける。

KEY VISUAL

2025年に、アートギャラリー・NEORT++にて開催された二人のジェネラティブアーティストChih-Yu Chenと永松歩による展覧会「Silver Trail -dialog() spinoff-」。アジア巡回展「dialog()」の精神を継ぎ、日台の両作家がGitHub上で日々コミットを重ね共同制作。コードと言葉の往還を通じ、国境を越えた新たな対話とジェネラティブアートの可能性を提示した対話をPERSONのKEY VISUALとして提示します。



Chih-Yu Chen

チー・ユー・チェンは台湾を拠点とするデジタルアーティスト。彼女は計算アルゴリズムと確率変数を駆使し、人間の生活体験をデジタル空間内で再構築することを試みている。その創作活動はジェネラティブアートからインタラクティブデザインまで多岐にわたり、テクノロジーと人間性の接点を探求している。現在は特に、現実世界のシミュレーションと詩的な表現言語との間に生まれる動的な関係性に焦点を当て、アルゴリズムによる偶然性が如何にして人間の感情や記憶を呼び起こすかを研究している。



永松歩

ジェネレーティブアート、データドリブンアート、ビジュアルミュージックなどのスタイルや方法論、歴史の交差領域への関心から作品を制作。フリーランスのプログラマー・アーティストとしてリアルタイム・非リアルタイムの作品制作にたずさわり、複数のデジタルソフトウェアに精通する。また、美術系大学非常勤講師としてワークショップも積極的に開催。

■PERSON × VINTAGE TALK SESSION

VCM代表 十倍直昭と、さらば青春の光 森田哲也氏、松尾太陽（超特急 タカシ）氏を迎えた特別トークセッションを開催。古着との出会いや惹かれる理由、“自分らしいスタイル”の在り方を語る。ヴィンテージを通して見える価値観を、“人”の視点から紐解く特別企画。



十倍 直昭

VCM inc.代表取締役。2008年Vintage Select Shop「Grimoire」〈グリモワール〉オープン。その後、2021年にヴィンテージ総合プラットフォームVCMを立ち上げ、日本最大級のヴィンテージの祭典「VCM VINTAGE MARKET」を主催。

■会場：10F PBOX ■会期：2026年3月15日(日)13:00~14:00予定

■OIL presents 「ART MARKET vol.3」

2023年から開催しているフェア型イベント「ART MARKET」の第3弾。「OIL」に出店中の約10のギャラリーが集結、イベントへの出店ギャラリーは随時発表予定。アートがギャラリストや作家、あらゆるアート関係事業者の力から生み出されている魅力を知っていただき、コレクションの第一歩となるような作品、グッズを販売します。

<出店予定ギャラリー>

DIGINNER GALLERY、LOWW、PAGIC Gallery、OIL SELECTION 等

「OIL」

日本を代表するギャラリーやアートストアとともにつくる、アートのマーケットプレイスとして2019年に開設。以来、多くのギャラリーにご協力いただきながら、たくさんの方々へオンラインを通じて「アート作品の購入」という体験をお届けしてきました。近年は、美術コンテンツの制作から展示やイベントの企画まで、オンラインにとどまらない、美術における新たな価値を提案しています。

■会場：10F PBOX ■会期：2026年3月20日(金)~21日(土)各日12:00~19:00

■BLOCK HEAD MOTORS TOKYO

渋谷PARCO10Fにある屋上を使ってRCカーの走行イベントを行います。当日はBLOCKHEAD MOTORSのJUN WATANABEと一緒に特設コースでRCカーのフリー走行を楽しみましょう。参加者全員に限定記念ステッカーをプレゼント。

時間：第1部：12時~14時、第2部：16時~18時（各回30分前から入場可能）
料金：各回3,000円

JUN WATANABE

デザイン会社「HANAKUMO INC.」代表。グラフィックデザイナー。1990年代後半からグラフィックデザイナーとしてのキャリアをスタート。自身のブランド「JUNWATANABE」名義でもファッション・ホビーを中心に多くの商品デザインを展開。模型メーカー、タミヤとはアパレルに特化したコラボレーションライン「TAMIYA by JUN WATANABE」を展開中。

■会場：10F PBOX ■会期：2026年3月22日(日)

■GANNI 1st Anniversary

GANNI渋谷 PARCO店では、OPEN1周年を記念し、3月19日(木)・20日(金)の2日間でレセプションパーティーを開催します。店内にはフォトブースも設置し、GANNIオリジナルフレームで写真撮影が可能な体験型ブースとなっております。さらに2日間限定でケータリングやドリンクのご用意をしており新作アイテムをご覧いただきながら、特別なひとときをお過ごしいただけます。フォトブースは3月25日(水)まで設置しております。

■会場：3F GANNI ■会期：2026年3月19日(木)~25日(水)



“PERSON”
SPECIAL TALK SESSION





■クリスティーナ・ロシュコワ「unbewitched／アンビウィッチド」

ロシア人写真家クリスティーナ・ロシュコワによる写真展をPARCO MUSEUM TOKYOにて開催いたします。世界各国の同世代と共鳴するリアリティとダーク・ファンタジーを提示するロシュコワ。展覧会同名写真集の発売を記念し、日本で二度目となる展示を行います。高度経済成長を経た後の「アンビウィッチド（魔法が解かれた、夢からさめた）」という現在のタフな現実と、それでも求める幻想を写し出します。緊張感と親密さをあわせ持つ世界をご体感ください。

Kristina Rozhkova (クリスティーナ・ロシュコワ)

1996年ロシア・ペルミ生まれ。哲学を学び、サンクトペテルブルク大学修士課程および写真アカデミーを修了。POY Asia 2021入賞、英『British Journal of Photography』の「注目すべき若手写真家20人」に選出。『Vice』『i-D』『Fisheye』などのメディアで紹介。写真集『The Bliss of Girlhood』ほかを刊行し、国際的に活動を展開している。

■会場：4F PARCO MUSEUM TOKYO ■会期：2026年3月20日(金)～4月13日(月)



■風とリップ

人気HIP HOPグループ「RIP SLYME」と、風とロック・箭内道彦が再タッグ！1年限定の再集結、5人の素顔を収めた書籍『風とリップ』の刊行を記念し、スペシャルな展覧会を渋谷PARCOで開催します。

主催・パルコ

企画制作・風とロック、パルコ

制作協力・Simones、Warner Music Japan

■会場：B1F GALLERY X BY PARCO ■会期：2026年3月19日(木)～4月6日(月)



箭内道彦

クリエイティブディレクター。1964年福島県郡山市生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業後、株式会社博報堂を経て2003年に独立し、風とロック有限会社を設立、現在に至る。タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」、パルコ「SPECIAL IN YOU.」、東京メトロ「Find my Tokyo.」など、既存の枠に捉われない数々の話題の広告キャンペーンを長く手掛ける。

RIP SLYME

1994年結成。2001年「STEPPER'S DELIGHT」でメジャーデビュー。斬新なアイデアのビートと個性溢れるMC陣のマイクリレーからなる独自のHIP HOPを鳴らし続け、数多くのヒット曲を生み出す。2ndアルバム「TOKYO CLASSIC」のミリオンヒットや日本のHIP HOPアーティスト史上初の日本武道館単独公演、5万人野外ライブなど、数々の実績を残した。活動休止とメンバー脱退を経て、2022年よりRYO-Z、ILMARI、FUMIYAの3人体制で活動した後、2025年4月からPES、SUがメンバーに復帰し再び4MC+1DJ編成に。楽曲リリース、全国の大規模フェス出演をはじめ、他アーティストとのコラボやソロ活動も精力的に行う。



【Interview】PARCO CRUISE

RIP SLYME×JUNYA WATANABE MAN / COMME des GARÇONS HOMME

デビュー25周年を迎えるRIP SLYME。今年3月22日までの約1年間限定で、オリジナルメンバー5人が再集結した。その節目の時間と重なるように渋谷の街で実現したのが、「JUNYA WATANABE MAN」の新作を纏ったファッションシューティング。舞台となったのは、渋谷PARCOからSHIBUYA CLUB QUATTROへと続くストリート。彼らの記憶とカルチャーが幾重にも刻まれた渋谷の道中で、今回の撮影は行われた。

<https://shibuya.parco.jp/feature/detail/?id=8493>

※2月27日(金)18:00公開予定

